



名 前：前原 伶美 さん  
 所 属：関西大学文学部 2 年（※参加当時）  
 インターン先：炉ばた にせこ浪花亭  
 参加プログラム：ウィンタープログラム（6 期生）

### Q 1. インターン先ではどんな仕事を体験しましたか？

ウィンターシーズンはディナータイムのみの営業だったため、勤務は午後からでした。開店前は店内清掃やテーブルセッティング、開店後は料理のサーブや片付けなど。9 割以上が海外からのお客様だったので、料理の説明や接客は全て英語で行いました。お客様と料理長の会話の簡単な通訳をすることもありました。

慣れない英語での接客で戸惑うこともありましたが、お客様に“Thank you!”と言っていただけは嬉しかったです。



スタッフのみなさんと

### Q 2. 職場の雰囲気はどうでしたか？



スタッフさんとスノーボード

とてもアットホームな雰囲気の職場でした。スタッフさんの誕生日にはみんなでお祝いをして、ShiriBeshi 留学の終了が近づくと、私の送別会を開いてくださいました。スタッフさんは日本人の方が多かったですが、フィリピン人マネージャーをはじめとする外国人スタッフとは英語で会話をしていました。

スタッフのみなさんはとても仲良くしてくださり、一緒にさっぽろ雪まつりに行ったり、スノーボードをしたりしました！

### Q 3. 寮、その他生活環境はどうでしたか？

寮は勤務するお店と同じ敷地内にあり、個室でした。部屋も広く、キッチン・お風呂・トイレも完備されていて、とても快適でした。午前中は OFF だったので、同じ寮に住んでいる外国人スタッフと一緒に買い物に行ったりしていました。交通手段は少ないですが、車に乗せてもらっていたので、そこまで不便だと感じることはなかったです。

食事はまかないが 1 食ありました。プロの料理人が作ってくださるので、とても美味しかったです。勤務が早く終わった日は、みんなでご飯を食べに行ったり、寮の部屋でパーティーをしていました。

## Q 4. これから応募する人に向けたアドバイスをお願いします！ ShiriBeshi

「日本にこんなところがあるんだ」私が ShiriBeshi 留学中にずっと感じていたことです。

同じ日本という国ではありますが、私にとっては全てが異文化でした。大阪で生まれ育った私にとっては、一面の雪景色すら新鮮でしたし、町を歩けばすれ違う人々はほとんどが外国人です。日本語もあまり聞こえてきません。

このような環境の中で、私は多様性を受け入れることの大切さを学びました。留学中は、国籍や年齢ももちろんですが、日本人でも様々なキャリアを歩んできた人と出会う機会がたくさんあります。そんな時にどのようにその人たちと関わり、協働し、自分のスキルを活かしていくか。語学力や接客だけでなく、自分の将来について考える良い機会にもなると思います。

### ☆前原さんがインターンした企業はこちら☆



炉ばた  
にせこ 浪花亭

会社名 (株)すすきの浪花亭 (炉ばたにせこ浪花亭)

URL [robata-naniwatei.com/ja](http://robata-naniwatei.com/ja)